

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会
GLP 小委員会(第 25 期・第 2 回)議事要旨

1. 開催日時:令和3(2021)年9月28日(火)15:30~17:30
2. 開催場所:オンライン開催(zoom)
3. 出席:近藤昭彦、春山成子、氷見山幸夫、大黒俊哉、王勤学、奥田敏統、渡辺悌二、
柴田英昭、季増民、石原正恵、奈佐原顕郎、木本浩一
欠席:石井励一郎

4. 配付資料

- 資料1: GLP 小委員会活動報告
資料2: カーボン参加確認票
資料3: CN に関する連絡会資料
資料4: Pandemic 連絡会議【参画希望調査】案
資料5: パンデミックと社会の連絡会議(ポンチ絵)

5. 議事

- (1) 初年度活動報告
近藤委員長から、GLP Japan Office の運営、GLP 2021 Asia Conference(2021 年 9 月 14-17 日、オンライン開催)の共催など、報告があった(資料 1)。
- (2) GLP アジア会議報告
渡辺委員から、大会の概要について報告があり、運営体制を巡る政治的状況(日本、中国、台湾)、研究発表の傾向(コロナ関連の取り組み、バーチャル実習・演習の活用)などについて意見交換をした。
- (3) カーボンニュートラルに関する意見交換
カーボンニュートラル(CN)担当の木本委員および氷見山委員から、9 月 16 日開催の第一回カーボンニュートラル(ネットゼロ)に関する連絡会議について報告があった(資料 2, 3)。その後、CN 上での GLP の位置づけ、人文・社会科学的な側面からの発言や教育に関する取り組みの重要性、行政との関わりなどについて意見交換を行った。
- (4) パンデミックと社会に関する連絡会議について
近藤委員長から、同連絡会議への関わり方(方針)について説明があった(資料 4, 5)。その後、氷見山委員から学術会議における分野別・課題別委員会の構成についての説明があり、その中で GLP という元々分野横断的な分科会の位置づけを意識する必要がある、との発言があった。さらに、近藤委員長からオルタナティブ科学についての紹介があり、氷見山委員から土地利用変化に関するデータの蓄積・記載の推進について懸念があるとの発言があった。

大黒委員からは、大型研究に関する進捗状況について報告があり、コアになる部分についてもう少し詰めの議論が必要であるという指摘があった。

(5) 今後の活動方針について

ランド科学としてのベースを確立し、GLP 関連の活動を支え、GLP 関連の研究が重要であるという実際の研究をサポートする、基本的な考え方をサポートする。その際、重要になるのが教育である。

(6) その他

大黒委員から、IGU Commission on Geography for FE の会議の進捗状況の報告があった。